

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する再意見

再意見提出者	R K B 毎日放送（株）
--------	---------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	
(3) 関連する国内外の動向と課題	<p>平成 22 年 6 月 14 日に提出した「ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見」に関して、下記の通り追記します。</p> <p>1. 800MHz 周波数帯の利用について</p> <p>① 800MHz 帯 FPU について</p> <p>「770～806MHz は、放送業務用 800MHz 帯 FPU と、特定ラジオマイク／デジタル特定ラジオマイクの二者で周波数を共用しており、放送事業者のほか、イベントや舞台など多くのユーザーが様々な状況下で日々使用し、放送を通じて電波の有効利用と言う観点からも国民への還元を果たしている」と、先に意見を提出しました。</p> <p>特に 800MHz 帯 FPU が、日々の報道活動に於いて必要不可欠な機器である事は、弊社のみならず、多数のテレビ局から意見が提出されている事でも明らかです。</p> <p>又、700/900MHz 帯の周波数の割り当てに関し、経済的観点で検討すべきとの意見もありますが、視聴者いわば国民に対しての「利益の還元」も考慮すべきと考えます。遮蔽物に囲まれた場所からや移動しながらの中継等で、安定した映像をかつ長距離伝送する技術は、十分に国民に利益を還元していると考えます。現時点ではこの代替手段は非常に難しいと思われ、周波数配置の検討では慎重な対応が必要と思われます。</p> <p>②800MHz帯FPUの周波数の分割について</p> <p>一方、放送業務用 800MHz 帯 FPU を分割して移行すべきとの提案もあっていますが、マラソン中継等ではその帯域をすべて使用して運用する事も多く、システム構築上分割移行は難しいと思われれます。</p> <p>2. 放送帯域の縮小について</p> <p>地上テレビ放送帯域を縮小し、周波数を空けるべきのご意見がありますが、現在の52ch以下にリパックする事でも周波数確保に苦労しています。</p>

	<p>弊社エリアでは、地形的な関係で隣接４県の局及び韓国の局との間で調整しても周波数が不足しており、混信を発生させないためのチャンネル選定作業、受信対策検討等に相当の労力を要しています。</p> <p>ＴＶのアナログ波停波後、混信対策（改善リパック）を含め周波数の移行を検討していますが、移行先は52chまでの全体を使用しても厳しい状況です。13～52chの放送用帯域は必要最小限であると考えます。</p>
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	